

平成 31 年 2 月 26 日
内 閣 府
原 子 力 政 策 担 当 室

第 20 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA） コーディネーター会合の開催について

平成 31 年 3 月 6 日（水）、三田共用会議所にて、第 20 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA^{※1}）コーディネーター会合を開催する。今次会合では、第 19 回大臣級会合（平成 30 年 12 月）において採択された共同コミュニケを踏まえ、プロジェクトの活動報告及びその評価、今後の計画について討議予定。

尚、本会合のサイドイベントとして、3 月 5 日（火）午後、理化学研究所 仁科加速器科学研究センター（和光市）へのテクニカルビジットを行う予定である。

※1 我が国が主導するアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるための協力フォーラムであり、コーディネーター会合は、自国におけるプロジェクトの実施に責任を持ち、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を担う各国コーディネーターにより、年一回プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画の討議を行うもの。（ウェブサイト：<http://www.fnca.mext.go.jp/>）

1. 主 催 内閣府・原子力委員会
共 催 文部科学省
2. 開催日 平成 31 年 3 月 6 日（水）
3. 開催場所 三田共用会議所 3F 大会議室（CDE）
4. 参加予定国
オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本^{※2}、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム

※2 日本からは、岡芳明原子力委員会委員長及び委員、佐藤文一夫内閣府大臣官房審議官、和田智明 FNCA 日本コーディネーター他が出席予定。

以上

第 20 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA） コーディネーター会合プログラム

日 付：平成 31 年 3 月 6 日（水）
場 所：三田共用会議所
主 催：内閣府・原子力委員会
共 催：文部科学省

平成 31 年 3 月 6 日（水）

プレスオープン部分（10:00～10:30）

セッション 1：開会（10:00～10:20）

- ・挨拶（岡 芳明 原子力委員会委員長）
- ・参加者紹介
- ・アジェンダ確認
- ・集合写真

セッション 2：2018 年度の FNCA 会合報告（10:20～10:30）

- ・報告（第 19 回 FNCA 大臣級会合の概要）

セッション 3-1：放射線利用開発プロジェクト（産業・環境利用）の成果報告

- （1）放射線育種
- （2）加速器利用
- （3）気候変動科学（10：30～12：00）

セッション 3-2：放射線利用開発プロジェクト（健康利用）の成果報告

- （1）放射線治療（13：00～13：30）

セッション 4：研究炉利用開発プロジェクトの成果報告

- （1）研究炉利用（13：30～14：00）

セッション 5：原子力安全強化プロジェクトの成果報告

- （1）放射性安全・廃棄物管理（14：00～14：30）

セッション 6：原子力基盤強化プロジェクトの成果報告

- （1）核セキュリティ・保障措置（14：30～15：00）

セッション 7: IAEA/RCA との協力

(1) RCA 地域事務所々長からの活動報告

(15 : 20—15 : 50)

セッション 8: FNCA プロジェクトの今後の活動について

(1) 各国コーディネーターからの各プロジェクト講評

(2) 2018 年成果評価

(3) 2019 年活動計画の確認

(15 : 50—16 : 20)

セッション 9: 閉会セッション

(1) 会合決議事項の確認

(2) 閉会挨拶

(16 : 35—17 : 00)

歓迎レセプション 三田ルーム (3F)

(17 : 30—19 : 00)

(以上)

平成 31 年 2 月 26 日
内 閣 府
原子力政策担当室

アジア原子力協力フォーラム（FNCA） 「2019 スタディ・パネル」の開催について

平成 31 年 3 月 7 日（木）、三田共用会議所にて、アジア原子力協力フォーラム（FNCA）「2019 スタディ・パネル」を下記のとおり開催する。

FNCA 参加国地域における原子力エネルギーや原子力利用が高まるにつれ、参加国は、発電の導入に際し、法的整備や人材育成など、適切な原子力発電基盤整備は重要であるとの認識を共有してきた。かかる背景の下、昨年を引き続いて、原子力の法的分野に関し、豊富な知識や経験を有する国際機関等との連携を促進することとし、主題に「法的、規制的枠組みから見た原子力関連活動に関わる環境影響評価」を設定して、発表と議論を予定。

記

1. 主催 内閣府・原子力委員会
協力 経済協力開発機構・原子力機関（OECD/NEA）
2. 開催日 平成 31 年 3 月 7 日（木）
3. 開催場所 三田共用会議所 3 階 大会議室（CDE）
4. 参加予定国
オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本※、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム 他

※ 日本からは、岡芳明原子力委員会委員長及び委員、佐藤文一内閣府大臣官房審議官、和田智明 FNCA 日本コーディネーター他が出席予定。日本の同分野に於ける有識者、及び海外から、参加各国代表の他、OECD/NEA 法委員会関係者、米国原子力規制委員会（NRC）等からの講演者を予定している。

以上

アジア原子力協力フォーラム（FNCA） 「2019 スタディ・パネルプログラム」

日 付：平成31年3月7日（木）
場 所：三田共用会議所
主 催：内閣府・原子力委員会
協 力：経済協力開発機構・原子力機関（OECD/NEA）

平成31年3月7日（木）

プレスオープン部分（10:00～10:45）

セッション1：開会（10:00～10:15）

- ・ 開会宣言、挨拶 佐野利男原子力委員（会合議長）
- ・ 参加者自己紹介
- ・ アジェンダ確認
- ・ 集合写真
- ・

セッション2：ジェネラル・オーバービュー「(EIA)に関する国際的な法的枠組み」

- ・ プレゼンテーション（10:15-10:45）
(OECD/NEA Ms. Kimberly S. Nick)

セッション3：「原子力に関する（EIA）への取り組み」

(Part-1)

- ・ プレゼンテーション1：米国の例（10:45-11:15）
(NRC 委員 Mr. Stephen G. Burns)
- ・ プレゼンテーション2：日本の例（11:15-11:45）
(宮森征司 一橋大学大学院法学研究科 特任講師)
- ・ プレゼンテーション3：外国の例（11:45-12:15）
(フランス)

(Part-2)

- ・ プレゼンテーション4：加盟国の概況（13:15-14:05）
(加盟国 x5 か国)
- ・ プレゼンテーション5：日本の概況（14:05-14:35）
(星野知彦 日本原子力発電株式会社 常務執行役員)
「(仮) 原子力発電事業者としての取り組み」

- ・プレゼンテーション 6:加盟国の概況 (14:50-15:40)
(加盟国 x 5 か国)

セッション 4: パネル・ディスカッション (15:40-16:30)

(モデレータ : Ms. Kimberly S. Nick)

パネリスト : Mr. S. Burns

宮森 特任講師

海外講演者 (仏)

カザフスタン

中国

セッション 5: クロージング (16:30-16:40)

- ・閉会挨拶 (佐野委員)